

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	高等教育における柔軟な学びの場の提供	コード	作成者	役職	教育総務課長・学校教育課長
		01-01-05		氏名	入江章行・小郷 康弘
			電話	64-1802・64-1840	
			このシート作成に要した時間	3.0 時間	

この施策の アピール ポイント	東備地域唯一の定時制高等学校である片上高等学校の運営に係る事業である。
-----------------------	-------------------------------------

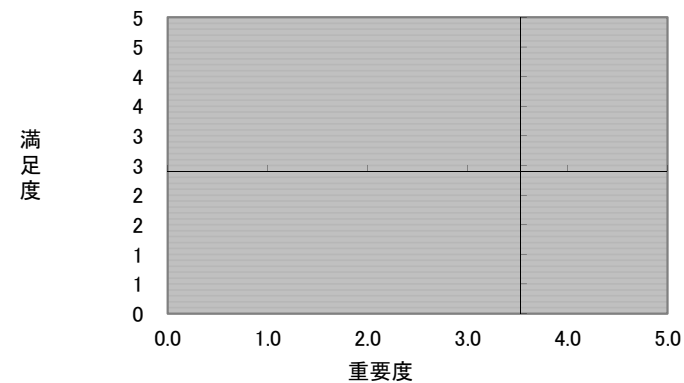
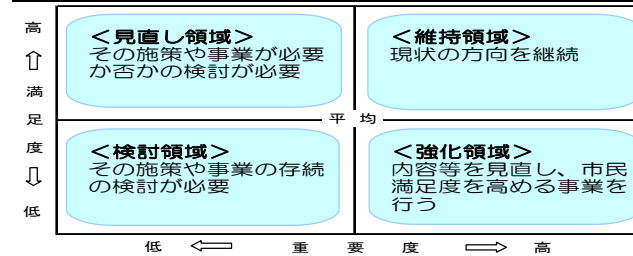
この施策の 平成25年度の 施政方針	—
--------------------------	---

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	重点施策「教育」
	基本計画 (中項目)	将来を担う人材が育つまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	勤労青年だけでなく、多様なニーズや目的をもって入学する生徒に対し、社会的自立を目指す場として魅力ある教育活動を展開する。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	片上高校は勤労青年のための学校として設置されたが、近年、不登校や中途退学した生徒が自分にあった学校として入学する割合が増加しており、新たな役割を担っている。入学後、中途退学の割合が高く、魅力ある学校づくりを推進する必要がある。また、卒業後の進学や正規就職の割合が39% (24年度) と低く、進路指導の充実が必要である。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな指導 魅力ある学校づくり 図書館の充実 負担軽減 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度				H25
重要度				
満足度				



調査結果に対するコメント、市民の反応等	全校生徒に占める市内の在学生の割合が32% (25年度) 低くなっている。市民の関心も高いとはいえないが、東備地域唯一の夜間定時制高校として大きな役割を果たしている。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H23	H24	H25		H26	H28
成果指標 入学時の生徒が卒業する割合	目標 %	—	85	85	卒業人数÷卒業者の入学時人数	H26	60
	実績 %	—	55	59		H28	60
	達成率 %	—	64.7	69.4		H34	65
	ベンチマーク	—	—	—		—	—
参考指標 入学試験の志願倍率	目標	—	1.00	1.00	入学志願者÷定員	H26	1.0
	実績	—	0.93	0.85		H28	1.1
	達成率 %	—	93.0	85.0		H34	1.2
	ベンチマーク	—	—	—		—	—
参考指標 進路決定の割合	目標 %	—	45.0	45.0	(進学者+正規就職者)÷卒業者	H26	45
	実績 %	—	39.0	68.0		H28	50
	達成率 %	—	86.7	151.1		H34	60
	ベンチマーク	—	—	—		—	—
参考指標 ③							

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (裏面 施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
教育総務課	高等学校等修学支援事業費補助	法令の定めにより、対象となる生徒・保護者に対する修学費用の負担軽減を新たに図るもの。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断	理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4		「入学時の生徒が卒業する割合」は生徒の成長を支える学校の努力が反映されており、妥当性がある。
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3		市内生徒の占める割合が低い傾向や厳しい財政状況の中、教育内容を充実させるための思い切った事業を打ち出すことができていない。
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3		片上高校を第一志望として受験する生徒が少ない状況で、そのことが卒業割合や志願倍率に大きく影響する。学校は分かる授業づくり等、努力を継続しているが、現状の施策の継続では達成が困難であると推測される。
進行年度 (H26年度) の取組内容 (課題解決状況)			在校生に特別な配慮が必要な生徒が多い現状を受け、県の「高等学校における発達障害支援実践モデル事業」の指定を受け、生徒への適切な支援についての実践研究を実施している。
翌年度 (H27年度) の取組目標			片上高校は、主に東備地域の不登校生徒等、特別なニーズをもつ生徒にとって貴重な進路先となっている。施設面・人的な面で大きな改善は困難であるが、県指定の実践研究を生かし、入学してきた生徒にとって魅力ある学校を目指す。
二次評価者コメント			不利な条件にも関わらず、本人の努力と学校の指導により、巣立った卒業生が実社会で活躍しており、片上高校の果たす役割は大きい。今後、教育活動の充実に向け、学校のニーズを踏まえながら教育委員会として継続して支援していく必要がある。また、県教育委員会に一層の支援を要望する。
役職 氏名	教育次長 末長 章彦		基本施策への 貢献度 3 中立

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）										施策への 貢献度	
			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
01	定時制高等学校管理運営事業	定時制高等学校管理運営事業	単市	11,763	619	0.08	11,916	123	0.02	11,044	234	0.04	12,867	☆☆☆☆☆
02	定時制高等学校教育振興事業	電算機借上事業	単市	0	0	0.00	0	61	0.01	3,423	0	0.00	3,423	☆☆☆☆☆
		教材備品整備事業	単市	114	0	0.00	118	0	0.00	118	0	0.00	100	☆☆☆☆
		全国大会出場補助事業	単市	0	0	0.00	0	0	0.00	15	0	0.00	100	☆☆☆
		図書整備事業	単市	60	0	0.00	57	0	0.00	32	0	0.00	60	☆☆☆
		就学奨励事業	単市	950	128	0.02	881	127	0.02	764	341	0.07	2,200	☆☆☆☆
03	定時制高等学校運営支援事業	県高等学校教育研究会負担金事務	単市	17	0	0.00	17	0	0.00	17	0	0.00	18	☆☆
		全国定通校長会費事務	単市	6	0	0.00	6	0	0.00	6	0	0.00	8	☆☆
		全国定時制通信制高等学校長定通部会会費事務	単市	3	0	0.00	3	0	0.00	3	0	0.00	3	☆☆
		県高等学校定時制通信制教頭協会費事務	単市	10	0	0.00	9	0	0.00	9	0	0.00	10	☆☆
		全国教頭会費事務	単市	5	0	0.00	4	0	0.00	4	0	0.00	4	☆☆
		県教頭会費事務	単市	3	0	0.00	3	0	0.00	3	0	0.00	3	☆☆☆
		定時制高等学校教育振興会負担金事務	単市	70	0	0.00	68	0	0.00	62	0	0.00	70	☆☆
		全国高等学校給食研究協議会分担金事務	単市	1	0	0.00	1	0	0.00	1	0	0.00	1	☆☆
		高等学校体育連盟負担金事務	単市	25	0	0.00	23	0	0.00	20	0	0.00	25	☆☆☆
		教科書給与補助事業	単市	305	6	0.00	283	6	0.00	264	16	0.00	368	☆☆☆☆☆
		部活動補助事業	単市	20	0	0.00	20	11	0.00	20	11	0.00	20	☆☆☆☆
		高等学校運営事業	単市	41	78	0.01	195	21	0.00	416	10	0.00	377	☆☆☆☆☆
		校内研修支援事業	単市	0	20	0.00	0	60	0.01	0	10	0.00	0	☆☆☆☆
この施策に費やした資源（単位：千円，人）			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度								
			13,393	851	0.11	13,604	507	0.07	16,221	622	0.11	19,657		